

Nishihara Town



Nishihara



西原町

サワフジ (西原町の町花木)  
 サワフジは常緑小高木で、海岸付近の低湿地、マングロープ背後の湿地または内陸の河川沿いの湿地に生育します。葉は長楕円形で、枝先にかたまってつきます。夏になると、葉の裏から直径5センチ、長さ50センチの総状または穂状の白や淡紅色の花が複数垂れ下がり、美しい景色が広がります。別名サガリバナとも言われるゆえんです。



物呉ゆすと我御主、  
 内間御鎖ど我御主

内間御殿  
 国指定史跡に  
 指定される。

永倉元年(1600)の戦いで、我御主は、  
 それに内間金丸とす。なる  
 金丸、尚田王とす。

2013年西原町勢要覧

Nishihara

# 文教のまち「にしはら」

## CONTENTS

- p4 **マンガで学ぼう！内間御殿**  
金丸(尚円王)の誕生と内間御殿
- p10 **国指定文化財「内間御殿」**
- p12 西原町の歴史
- p16 平和を祈求する西原町
- p18 伝統芸能
- p20 西原まつり
- p22 **文教のまち「西原」**
- p24 **平和で人間性豊かなまちづくり**  
平和行政・国際交流  
学校教育・教育環境  
社会教育・社会体育  
スポーツ振興  
コミュニティー活動・地域活性化
- p36 **安心して環境にやさしいまちづくり**  
防犯・防災  
環境保全対策
- p42 西原町イラストマップ
- p44 **健康と福祉のまちづくり**  
保健衛生・地域福祉  
社会福祉
- p50 **豊かで活力のあるまちづくり**  
都市基盤施設の整備  
農林水産業・商工業
- p56 西原町の特産品
- p58 町章・町民憲章・西原町の歌
- p59 資料編

# マンガで学ぼう!内間御殿

かなまる しょうえんおう たんじょう うちま うどうん

## 金丸(尚円王)の誕生と内間御殿

伊是名島で百姓の子として誕生、その才能を越来王子に見いだされ、第二尚氏初代国王「尚円王」になった「金丸」と内間御殿とのかかわりをマンガで見てみよう。

1415年

金丸(かなまる)  
伊是名島に生まれる  
童名は思徳金  
(うみとくがね)



1434年

両親とともに  
農業を営んでいたが  
金丸20才の時、  
両親が亡くなる。  
金丸は妻と幼い  
弟をつれ、国頭、  
久志を経て  
1441年27才のとき、  
首里に着く。



### 賑やかな琉球王国の城下町「首里」



金丸は首里で運命的な出会いをする。

名はなんと  
申す

金丸です

越来王子  
尚巴志の五男  
後の尚泰久王



1452年

越来王子に見いだされ  
琉球王朝の役人となる。  
当初は下役であったが  
金丸はただちに頭角を表し  
1452年38才の時「黄冠」  
(当時最高位)まで登りつめた。



### その頃、首里城では… 「志魯・布里の乱」勃発



1453年

首里では、第五代国王  
「尚金福王」が亡くなると、  
王位をめぐる、王の子・  
志魯と王の弟・布里が争う。  
この乱で当時の首里城は  
焼失し、志魯・布里の双方  
とも疲弊した。  
そのため、首里を離れて  
いた「越来王子」が  
第六代国王「尚泰久」に  
即位する。



### 内間御殿



1454年

「尚泰久」が即位するとともに、金丸は  
西原間切の内間領主に任命され、内間に入った。

### 西原間切



### 当時の西原間切

首里王府の直轄地で、東は、津堅島(うるま市)から、  
現西原町全域。西は、今の那覇市おもろまち、銘苅、  
首里の石嶺、天久、泊(那覇市)まで及ぶ広大な地域でした。

### 万国津梁の鐘

尚泰久が作った今に残る  
王国の気概。  
琉球王国の交易立国を高  
らかに宣言し、琉球王国  
の性格を表現した  
銘文が刻まれている。

1459年

おもものくすくすのそば  
金丸は御物城御鎖鎖官に就任(貿易長官)。  
尚泰久王の右腕として王を支えました。



ごさまる あまわり

## 護佐丸・阿麻和利の乱

その時、琉球には二人の実力者がいた

琉球王・尚泰久に「護佐丸に謀反の動きあり」と進言し王を騙したのは阿麻和利。最大のライバル護佐丸を退け琉球王座を狙うための策略だったとされている。阿麻和利が王府軍を率いて中城城の護佐丸を滅ぼし、そしていよいよ阿麻和利は王府打倒に取り掛かるが、事前に王府内に情報が伝わっていたため、大敗し勝連城とともに滅ぼされた。

中城城主 護佐丸

勝連城主 阿麻和利

まさか!

謀反ですが

勝連城の阿麻和利を監視するため、中城城に護佐丸を配置。また、その手前の内間には金丸がにらみを効かせていた。

首里城 中城城 内間御殿 勝連城

## 中城城の戦い

阿麻和利が王府軍を率いて中城城を攻めるが、護佐丸は王府軍に歯向かうことはなく自害したと伝えられている。

## 1460年

尚泰久王亡くなる。王の子が「尚徳王」に即位。

## 1468年

### 金丸、内間御殿に隠居する

尚泰久王からの信頼が絶大であった金丸も、尚泰久王が死去すると、尚徳王と金丸の関係は尚泰久王の時にはいかず、血気にはやる若き王を金丸が諫めることもしばしばであった。金丸はついに内間村に隠居することになる。

## 1466年

### 尚徳王みずから喜界島遠征。

尚徳王は喜界島に自ら遠征に向くなど、無謀とも思える政策を重ね、次第に重臣の信頼を失っていった。

戦いじゃ!

来やがて!

「物呉ゆすど我御主、うちまうざし わがうすう」

内間御鎖ど我御主

衣食を与えてくれる者こそ我が主であり、それは内間金丸さまである

安里大親

## 1470年

尚徳王が死去し、王府の高官はその世子を即位させようと、重臣たちを招集して会議を開いたが、国王としての資質を問われ、泊村の安里大親の神がかりな一言で、金丸を次期王に推すことが決定された。金丸は内間御殿から首里に迎えられ即位し、尚円王となる。

なにことだ...

金丸様、首里からお迎えに来ました

## 金丸、尚円王となる

琉球を豊かにする!

金丸は、その豊かな才能と努力で第二尚氏初代国王「尚円王」となる。

尚円王後の時代から現代へ

1666年頃 (詳細年代不明)

高円王没190年後に摂政となった羽地朝秀の進言により東江御殿(内間御殿)の整備が始まった。



1666年頃に茅葺きの東江御殿建立。  
1679年周囲を竹垣で囲う。  
1689年東江御殿を瓦葺きに改修。  
1706年西原間切の人々によって西江御殿が造られる。



1879(明治12)年

「琉球処分」にて琉球王府が解体され、約300年も続いた琉球王国は無くなり沖縄県となる。



1945(昭和20)年 沖縄戦始まる!

沖縄戦が始まると、旧日本軍は宇小那覇に沖縄東飛行場を設営し、また、西原村が首里の前哨戦をなす位置にあったため、多数の部隊が村内に陣地を構えた。そのため、侵攻してきた米軍との間に激しい戦闘が交わされ、その結果、壊滅的な打撃をこうむり、当時の人口の46.9%もの住民が犠牲となった。  
(「資料にみる西原」ビジュアル版より抜粋)

沖縄戦で東江御殿と西江御殿の建物は戦火で消失したが、石垣と先王旧宅碑の台座などは、戦災を免れた。



1735年

東江御殿に賊が入り金丸使用の「宝枕」が盗まれた!



1737年

いなきとゆめしべーちゃん  
伊江里之子親雲上が王命を受け西江御殿を重修し、瓦葺きとなし、周囲に竹を植えて垣を作った。  
翌年、東江御殿の竹垣を石灰岩の切石で積んだ。



西江御殿

東江御殿

伊江里之子親雲上

1738年

尚敬王みずから筆をとり「致和」の扁額をかけた。



尚敬王

東江御殿が王家一族の祭祀場となり首里王府の管理強化が図られた。



1760年

代々御殿を管理していた「東江御殿の御殿守の門」は、以前のように祭祀参加を再三陳情し祭祀への参加が認められた。



2011(平成23)年

西原町の念願であった内間御殿が「国指定の史跡」に認定された。

祝 内間御殿 国指定史跡決定!



〈参考文献〉  
「内間御殿の成立と展開」発行:西原町教育委員会  
「沖縄の歴史前近代編」発行:(株)沖縄教育出版  
「沖縄の城ものがたり」発行:むぎ社  
「琉球王国の歴史」発行:月刊沖縄社

# 内間御殿

(うちまうどろん)

平成22年12月、文化庁で行われた文化審議会において、西原町字嘉手苅の「内間御殿」を国の文化財に指定する内容が、文部科学大臣へ答申されました。これにより、西原町が長年指定を目指して取り組んできた内間御殿が国指定の文化財になりました。

## 解説

内間御殿は、琉球王朝第二尚氏の始祖、金丸(のちの尚円王)の旧住宅跡に創建された神殿を中心とする祭祀施設である。金丸は一四四四年に越来王子(のちの尚泰久)に見いだされ、尚泰久の即位とともに西原間切内間村の領主に任じられ、一四七〇年に尚円王として即位するまでここに住んだ。

尚円の死後、一六六〇年代に羽地朝秀の進言により、第二尚氏ゆかりの地として旧宅跡の聖地化が進められ、茅葺きの東殿が建設された。さらに東江御殿の北側に西原間切の住民により茅葺きの西殿が建設された。

第十三代尚敬王の時代に竹垣を石垣に替え、また尚敬王選文による「先王旧宅碑」を建立し、さらに自筆の「致和」の扁額を掲げ、琉球王朝の聖地として完成した。

琉球処分後、嘉手苅の人々は村落共同体の祭祀対象として内間御殿への尊崇を高め、東江、西江両御殿は御殿守の子孫によって再興され、内間御殿は国家的神殿からムラの神殿へと移行していった。沖縄戦により大きな被害を受けながらも琉球王朝時代の石垣が良好に残存し、東江、西江両御殿とも地域住民の自発的な協力により再興された。

以上のように、内間御殿は羽地朝秀や蔡温の時代に歴史的重要性が認識され、国家的聖地として整備し、御殿守や内間ノ口等による祭祀関与、地域住民の自発的な支援や協力により保全されてきた経緯から、国家聖地の三世紀にわたる歴史的系譜を明確にたどることができる。これは、県内の史跡では他に例を見ない際立った特徴である。

## Nationally Designated Historical Site Uchima-udun

The Uchima-udun is a ritual facility at the center of the temple founded in the ruins of the former house of Kanamaru (the future King Sho En), founder of the second dynasty of the Ryukyu Kingdom. Kanamaru was recognized by Prince Goeku (the future Sho Taikyū) in 1454, and with the coronation of Sho Taikyū, he was appointed lord of Uchima Village in Nishihara, where he lived until his coronation as King Sho En in 1470.

In the 1660s after the death of Sho En, the former home of Sho En was turned into sacred ground on the advice of Haneji Choshu, as a place associated with the second dynasty, and an eastern temple with a thatched roof was built. Then on the northern side of the Agarie-udun, the populace built a western temple with a thatched roof.

In the age of Sho Kei, the thirteenth king, stone walls replaced bamboo walls, and the site was completed as a sacred place of the Ryukyu Kingdom with the construction of a monument to the homes of the former kings and a framed inscription by Sho Kei.

After the abolition of the Ryukyus, the people of Kadekaru increased their veneration of Uchima-udun as an object of ritual, and the descendants of the guardians of the Agarie-udun and Irie-udun restored them and the Uchima-udun became the village temple rather than the national temple. Although they were significantly damaged in the Battle of Okinawa, the stone walls from the period of the Ryukyu Kingdom survived, and the Agarie-udun and Irie-udun were restored through the voluntary cooperation of the local people.

In this way, the historical importance of the Uchima-udun can be traced through three centuries. Built in the age of Haneji Choshu and Sai On, it was established as a national sacred place, it played a part in the rituals of temple guardians and priestesses, and it was maintained through the voluntary support and cooperation of the local people. This is a unique feature with no similar examples in other historical sites in Okinawa.



1) サガリバナ (さわふし)



2) 先王旧宅碑



3) 東江御殿



4) カニマルウカー



5) 西江御殿



6) イリーヌウビシル



7) アガリーヌウビシル

# 西原町の歴史

History of Nishihara

琉球王国時代～沖縄戦～現在

西原の名称は、琉球王府のある首里の北方方言で「ニシ」という川にある地方から由来しています。  
 琉球王国時代、当時の西原閩切は首里王府の直轄地となっており、その領域は、北は津堅島(現うるま市)、西は石炭、末古、天久を越えて泊まで及ぶ大きな行政圏を構成していました。  
 明治41年の特別町村制の施行にともない西原村となり、大正9年にはほぼ現在の領域になりました。  
 昭和20年の沖縄戦では、米軍が上陸した跡谷の海岸から司令部のあった首里へ進軍する通り道となり、西原は激戦地となりました。住民の約半数が戦争の犠牲となり、全世帯のおよそ四分の一が一家全滅するという、深い傷を残しました。戦後は製糖工場が建設され、さとうきび産量が産量の茶幹を担いました。また沿岸部を中心に企業集積が進み、復興・発展を遂げました。現在では県内唯一の製造業出荷実績を誇ります。  
 また昭和54年に国立琉球大学、平成元年に沖縄キリスト教短期大学(現在の沖縄キリスト教学院大学・短期大学)が移転し、若者の活気に満ちた「文教のまち」として知られています。

## 棚原の石畳道

棚原の石畳道は公民館の南側、集落を南北に貫通する東端に敷かれたもので、道幅が1.8メートル、長さ約27メートルである。小横川の石畳道同様人頭大の自然の石灰岩をまばらに敷き詰め、その間に華大の小さな石を密に敷き詰めていくタイプのものである。石畳道の周辺は竹や木々が生い茂り風情がある。

The name Nishihara originates from its location to the north ('nishi' in local dialect) of Shuri, the seat of the Ryukyu royal government.

In the Kingdom of Ryukyu period, Nishihara was directly controlled by the Shuri royal government, and the territory encompassed a large administrative area including Tsuken Island (now Uruma city) to the north, Ishimine, Sueyoshi, Ameku and beyond to Tomari to the west.

In 1908 when the special towns and villages system came into effect, it became Nishihara Village, and in 1920, its boundaries were largely fixed where they are today.

In 1945 during the Battle of Okinawa, Nishihara lay in the path of American forces which landed on the Yomitan coast and advanced towards the headquarters at Shuri, making the village the site of a fierce battle. About half the populace fell victim to the fighting, and about a quarter of all households were lost completely, leaving the region deeply scarred.

After the war, sugar manufacturing facilities were built here and sugar cane production became the main industry. In addition, businesses concentrated in the coastal region, driving reconstruction and development. Today, Nishihara boasts Okinawa's highest level of industrial production.

In addition, the Okinawa Prefectural University of the Ryukyus moved here in 1979, and the Okinawa Christian Junior College (now the Okinawa Christian University and Junior College) in 1989. It is renowned as a place of learning and youthful vigor.



## サワフジ

サワフジは奄美以南に自生する樹木で、夕方に咲き、翌朝には散ってしまう花をつけず。このサワフジの木は西原町の花木に認定されており、樹齢は約470年といわれています。平成24年5月に町の天然記念物に指定されました。



## 先王旧宅碑

1738年につくられた石碑。尚門王の旧宅を整備した事が記されていますが、沖縄戦で破壊されました。

## 東江御殿

内閣御殿(東江御殿)は、金丸(のちの尚門王)の旧宅跡に、没後190年を経たのちに建てられました。その後、2回の改修を経るも沖縄戦で破壊。現在の建物は、戦後1951年に再建され、1974年に改築されたものです。



## 棚原ノロ殿内(ドゥンチ)

18世紀の史料に記され、建物中央の祭壇にミルク神が安置されています。棚原のミルク神信仰は、首里から伝わったといわれます。



## 石ジシ(イシジシ)

貝屋モーのふもとにあり、ほぼ運玉森を向くように置かれています。珊瑚石灰造で造られており、運玉森のヒューゲージ(火返し)といわれ、また運玉森のふもとにある桃原の石獅子は貝屋の石獅子のゲージ(返し)といわれています。



## 棚原比嘉家の土帝君(トゥーティークー)

祠は、内法で開口50.5cm、奥行54cm、高さ30cmの石灰岩の3枚の切石で箱型に加工した層積石を支えている。その内部には神体として夫婦をあげらした赤褐色を呈した陶製の男女一対の土帝君の神像が安置され、その前面には陶製の香炉が置かれています。



## ウワーフル

棚原集落内にある宮里家跡に残された、プタ小屋をかねた便所跡です。石積(いしづみ)でつくられた小屋のトゥーシヌミー(穴)から人が用をたすと、プタがそれを食べるしくみになっていました。

## 中絶島の「ねずみ川」 運玉義留

昔、運玉森に義留という若者が住んでいました。そのころから運玉義留と呼ばれるようになったのは、辛地殿内という身分の高い、金持ちの家の使用人であった。あるとき、義留は主人の髪を結いながら「私たち百姓でも三司官になれるか」と問うた。すると、主人は「アタビキロー(蛇)の子は、アタビキロー(百姓の子)はいつまでたっても百姓さ」と答えた。その言葉を聞いて、「よろし、それならば、大流神になって後世まで名を残したほうがいい」と主人になる決心をした義留は、さっそく、主人に「今夜、あなたの黄金の杖を預りに参ります」と予告した。その夜、主人が、家裏に言い付けで見張りをしていて、屋敷内に忍び入った義留は、持ってきた細かい砂を屋根に「バババ」と撒いた。その音を聞いた主人は、雨の音と勘違いし、「今日は雨が降るから義留は来ないよ」といって床に入って寝てしまった。義留は、さっそく寝室に忍び込んで主人の耳に水滴を垂らし、主人が寝返りをうった時にさっと黄金の杖を奪い取り、「ご主人、黄金の杖はいたしました」と叫んだ。主人が「どこまで逃げたのか」と問うた。竹筒で呼吸をしながら息を潜めて逃げた。あるとき、たいへん貧乏な夫婦がいて、娘を遊女に出さなければならぬほどお金に困っていた。そのことを知った義留は、「さっさと、お金を持って来なさい。娘を遊女に出すのはやめて大事にしてあげなさい」といって、お金を持ってきて助けてあげた。このように、運玉義留は、お金持ちからお金を奪い、貧しい人たちに分け与えていた。また、義留の家裏に油壱主という利口者がいて、二人で力を合わせ貧乏人を助けた。

(『西原町史』別巻「西原の民間伝説」480頁から再録) (注) 三司官：王府時代の国政を司る3人の宰相のこと

もっと詳しく調べるならココだ!



西原町立図書館



**正保国絵図**  
江戸時代、徳川幕府は全国的な国絵図を、慶長・寛永・享保・元禄・天保の5回調製。「琉球国絵図」は享保以降の3回分が調製された。



**1471(尚円2)年琉球国金盛丸主書状**  
前年王位に就いた金丸(尚円王)が島津氏に宛てた書状で、「琉球国」の表記が見える。年代は特定できないが、尚円王の在位が1470-76(文明2-8)年なのでその間に書かれたものと思われる。

# 西原の歴史 (抜粋)

琉球王国時代～沖縄戦～現在  
History of Nishihara

戦前



**尚円王御後絵**  
御後絵(おごえ、方言ウグイ)とは死後に描かれた国王の肖像画。この尚円のものももっとも古い。制作年代は不明。



**ペリー艦隊の随員が描いた木版画**  
タイトルは「探検家たち一琉球一夜営」。随員たちがテントを張って夜営している広場は、字小那覇川の上ヌ松原(イヌヌマージュ)だと見られている。



**1909-10(明治42-43)年ごろの我謝馬場**  
馬場は幅約14m、全長約330m余。戦前は見事なウッドシーサー並木で有名だった。ここで原山勝負・大綱引き・読馬・小学校の運動会などが行われ、村の公共広場として使用された。



**1932(昭和7)年 沖縄製糖株式会社西原工場**  
台南製糖(株)が社名変更してできた会社。台南製糖(株)は1917(大正6)年、その前年設立の沖縄製糖(株)(名称は同じだが別会社)と沖台拓殖製糖(株)が合併してできた製糖会社である。



**1937-1938(昭和12-13)年ごろの字小那覇の商店**  
旧小那覇大通りにあった雜貨店・大城商店。現在の小那覇交差点、国道329号の東寄り、小那覇川のすぐ北側にあった。

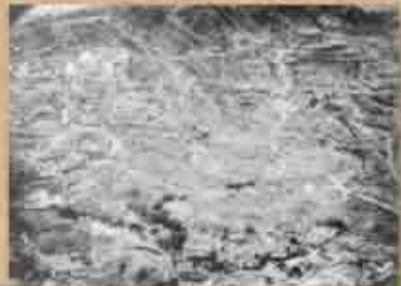


**1937(昭和12)年 戦前の字小那覇の綱引き**  
小那覇では綱引きはウファチジナ(お初綱)とかチフィチヌウグワン(綱引きの御願)とか呼び、旧暦6月25日に行われた。綱引き行事は現在も伝承されているが、戦前の方が盛大で、より生活に密着していたことがうかがえる。

戦時



**1945(昭和20)年 字小那覇 雨でぬかるんだ道路**  
西原村一帯を占領した米陸軍部隊が上陸後南の方向に進軍する。左手奥の山は運玉森。



**1945(昭和20)年 運玉森が見える空中写真**  
米軍の空襲により、(南部美濃町の与那原を見下ろす)円盤型の丘に、沼澤や雑草が、空襲による被害が見られる。小さな白い斑点は地上軍が降りしきる雨を避けるためにこの沼澤の上に立てた携帯テントである。という、「円盤型の丘」は運玉森を指す。



**1945(昭和20)年12月10日 米軍が撮影した「与那原飛行場」**  
旧日本軍「沖縄東飛行場」だった同飛行場は字小那覇に作られた。沖縄に上陸した米海軍に收容され、専用飛行場として補修。滑走路を6500×150フィート(2130×45m)に拡張して開設された。

戦時



**1953(昭和28)年 西原中学校(現・西原小学校敷地内)の校舎修理作業**  
お互いに協力しながら校舎の修理にあつている生徒たちの表情は明るい。戦後の校舎は、空き地を利用した青空教室から始まった。



**1959(昭和34)年 字翁長の元西原国民学校敷地に新築移転したころの西原中学校**



**1968年(昭和43) 西原温泉**  
1957(昭和32)年、ボーリング中に温湯水が湧き出し、調査の結果、アルカリ性温湯泉であることが分かった。沖縄では数少ない温泉施設として整えられた。

戦後



**1947-51(昭和22-26)年 坂田初等学校時代の運動会**



**1994(平成6)年 翔南製糖株式会社 西原工場(旧中部製糖株式会社 第一工場)**  
同工場は長年にわたって西原の産業だけでなく、産業全体を牽引してきた。



**琉球大学**  
1950(昭和25)年、首里城跡に開学。1979(昭和54)年に現在の字小那覇に移転した。県内唯一の国立大学法人。

現在



**沖縄キリスト教学院大学・同短期大学**  
1959(昭和34)年、那覇市首里に開学。1989(平成元)年に現在の字小那覇に移転。開学当初は短期大学のみだったが、2008(平成18)年4月に沖縄キリスト教学院大学が開学した。



**マリントウン東崎**  
西原と那覇地区の活性化のため、沖縄県、西原町、与那原町が共同で海辺のアニティー豊かなまちづくりを推進する「中城湾マリントウンプロジェクト」によって造成された。ビーチが整備された西原マリントウンをはじめとした緑豊かな公園、住宅や工業地域などが整備された。



**発展する町**  
西原の産業を長年支えてきた製糖工場の跡地に大型ショッピングセンターがオープンするなど、まちの発展は時代とともに変化し続けている。今後も道路事業や区画整理事業などの進捗に伴い、発展を続ける。



# 平和を祈求する西原町

## Nishihara's Commitment to Peace

### 戦争体験証言集より

本町は、去る沖縄戦で激戦地となり、住民の約半数が尊い人命を失い、また多くの貴重な財産や、歴史的資料が灰燼に帰しました。そのために、市民の反戦平和を願う心はとりわけ強いものがあります。沖縄戦終結から68年を迎えた今日、戦争体験者の減少、戦後世代の増加と相まって、戦争の歴史的教訓が年々風化しつつあります。そのような中で、あの忌まわしい、沖縄戦の悲劇と教訓を忘れず、後世に語り継いでいくことが大切です。

### From War Testimony

Nishihara was the site of fierce battles in the Battle of Okinawa. Approximately half of the residents lost their lives and besides this irreplaceable loss, valuable heritage and historical materials were destroyed. For this reason, the townspeople are strongly committed to peace and to preventing war. Today, 68 years after the end of the Battle of Okinawa, the number of people who experienced the war is declining, and as the postwar generations increase, the historical lessons of the war are gradually being forgotten. Therefore it is important to hold onto the memory of the abominable tragedy of the Battle of Okinawa, and to pass it on to posterity.



幸地陣地壕大砲



西原の塔



西原町地元住民戦没者刻銘碑



旧西原村役場跡



小波津戦没者慰霊碑



宇小波津 弾痕のある石塀



西原町発行  
戦争体験証言集  
平和への証言

より一部を抜粋しました。

## 私の戦争体験

宮平 盛彦 (元学徒通信兵)

一九四五年十月中旬の或る夜のことでした。南風原町字津嘉山に在る大きな壕の奥まった所に、七人の日本兵達が、かすかな灯を明けて世間話や故郷の思い出など雑談に耽つて居ました。突然、「山、山」と呼び掛ける声が入口の暗がりの方から、かすかに聞こえて来ました。「すは、何者」と皆が聞き耳を立て、息をこらして身構えて居ると、なおも「山、山」と声を掛けながら、ゆっくりと奥の方へ入って来る様子でした。こちらから「川、川」と合言葉を返すと、相手は立ち止まった様子でしたので、二人の兵隊が銃を向けながら近づいて行きました。

三十分程経ったであろうか、一人が戻って来て「入って来たのは二人の日本兵であり、彼等の話では、日本は既に八月十五日に米軍に全面降伏し、戦争は終わって居る。生存者は皆収容所に集まっていて、近い内に内地に帰る準備をして居る。それで未だ終戦を知らずに、隠れている兵隊達にそのことを伝えて一緒に帰還しようと、誘いに来た」と云って居ると報告した。だが誰一人として信じなかった。

「日本が負けるなんて絶対に無い。彼等は敵のスパイに違いない。」「二人をこのまま帰すと、こちらのことがばれて吾々が危ない、射殺しよう。」との結論になりました。その兵隊は、また彼等の方へ向いて行ったが程なくして戻って来て、「拳銃でやろうとしたが、不発で仕損じた。どうやら奴等に感付かれたらしい。」と、云いました。「それは大変だ、奴等が逃げ出せないように大急ぎで出口を塞いで仕舞おう。」と三人の兵隊達が別の出口から彼等の後に廻り入って来た入口を上の方などで塞いで出られないようにしたので、それを確認した交渉役の兵隊は、彼等の方へ行き「話は良く分かった、投降することにしよう。」と云い、彼等も「そうか、分かって呉れて有難う、では明朝車で迎えに来る。」と云って二人は、入って来た入口の方へ向かって歩き出した。

結局そのまま口をつぐんだままになって仕舞いました。

(中略)

毎年六月二十三日の慰霊の日には、「平和の礎」の刻銘碑に又十月十四日の命日には、津嘉山の壕跡に花を供え、鎮魂と恒久平和を祈念して居ります。しかしながら、私には、未だ心残りの事があります。一つは犠牲になったもう一人の方の身元確認と、未だに壕内に埋まったままになっている二人の遺体の収容のことです。どれも到底叶えられそうになく、いつも心の中にわだかまっています。それが晴れない限り私の戦後は、終わらないのかも知れません。

先月、摩文仁の平和祈念資料館を再度参観する機会があり、生々しい展示資料に見入り当時の悲惨な情景が改めて思い出され、身の毛もよだつ思いが致しました。その出口近くに次のような、「展示むすびのことば」が、掲げられて居りました。最後にその詩を朗読して、私の話の締めにしたしたいと思います。

た。数メートルも行かないうちに、戦場跡で拾い持って居た米軍の自動小銃を、背後からダツダツダツと連射を浴びせました。二人は、出口に向かって走り出したが逃げ路を絶たれました。塞がれた土壁に行き着いて、息絶えしました。その時一人の兵隊は「天皇陛下万歳。」と叫びました。事は終り、誰一人として言葉も無く、唯、茫然と互いに顔を見合せて座り込んで居ました。「天皇陛下万歳を叫んで死んだよ。」「敵のスパイがね。」皆が、怪訝そうな顔をしてささやき合いました。暫くして気を取り直し、死体を人目に付き難い場所に片付けました。事の起りから終りまで、約一時間、或いは、それよりも短かったかも知れません。私は十数メートル奥まった暗がり身を伏せ、じっと息をこらして事の成り行き見守つて居ました。そして、「この事は一切口外しないように。」と、きつく口止めされました。その後は、死んだ二人の捜索や或いは報復があるのではと、不安の日々が続きましたが、特にそう云う事は起こらず、その後はさすがに壕内までは入らず外から「中に誰か居ることは分かって居る、新聞と雑誌を入口に置いてあるので読んで信じて欲しい。故郷では家族が待つて居る、一緒に帰ろう。」と、何度も説得に来ました。

戦後の様子などを報じた新聞や雑誌を見た吾々も、ようやく敗戦の事実を信ずるようになり、とうとう壕を出ることを承知したのは、十一月二十三日頃でした。米軍の車に乗せられて屋敷の収容所へ連行され、初めて「かくも大勢の兵隊達が生き残つて居て、やがて故郷へ帰れること、又終戦になった事が本当であった。」と知った時、今更ながら「吾々はなんと酷い事をしたのだろう、助けに来て呉れた人を殺して仕舞い本当に申し訳ない。」と、自責の念にかられました。収容所に一週間程居りましたが、壕内で起きた事件については、私には何の取調べもありませんでしたので、

沖縄戦の実相にふれるたびに、戦争というものは、これほど残忍で、これほど汚辱にまみれたものはないと思ふのです。この生々しい体験の前では、いかなる人でも、戦争を肯定し美化することはできないはずで、戦争を起すのは、たしかに人間です。しかし、それ以上に、戦争を許さない努力のできるのも、私達人間ではないでしょうか。

平和祈念資料館展示むすびのことば

# 伝統芸能

## 受け継がれる芸術と技能の息吹

西原町では各地でさまざまな伝統行事・芸能が息づいており、世代を超えて今に伝えられています。また、かつての行事や芸能を掘り起こし、新しいスタイルで伝えようとする試みも各地で展開されています。

### Traditional Arts

~The blood of arts and performance skills passed down through generations~

Each area of Nishihara has unique traditional events and performing arts which continue to be passed on from generation to generation. Old festivals and performing arts have also been revived and each district is seeking ways to pass on old traditions with a new style.



### 新作組踊 「内間御鎖金丸」



内間金丸は、伊豫名生まれの百姓出身だが、勤王の知恵者、人徳優れた賢徳な人物として、尚泰久王をはじめ、多くの役人及び民百姓から慕われ、尊敬され、「天使金丸」と言われるほど評判だった。

新作組踊「内間御鎖金丸」は、西原町文化協会が西原町と縁の深い第二尚氏の始祖、内間金丸(後の尚円王)をテーマに、平成10年度に西原町戯曲大賞の公募を行い、その大賞に輝いた宮良邦夫氏の「天使金丸」を、勝連繁雄氏が組踊に脚本化したものです。その組踊は、西原町文化協会が中心となり、西原町民によって演じられているものです。今後、本町の文化・演技活動をより一層発展させるものとして期待されています。



#### 獅子舞

獅子舞は旧暦6月から8月にかけての豊年祭や田舎に行われる。獅子を舞わせることにより、悪魔を払い、世帯(ユカフ)を招くことで五穀豊穡と地域の繁栄を祈願する。ワクサーがドラや太鼓、ホラガイで跳び出し、棒と着れたり、まり遊びなどの独特な技を演じさせる。



#### 綱曳(チナヒチ)

五穀豊穡や害虫駆除、ヒーゲージ(火返し)などを祈願する神事で、現在でも多くの地域で行われており、大きな年中行事の一つ。旧暦の6月15日に行われるウマチー綱、23日から24日に実施されるコンサー綱、そして25日のウチアチ綱などに分類される。



#### 旗頭

綱曳の土気を高めるために繰り広げられる旗頭。鐘の音や掛け声に合わせて高々と持ち上げた旗を上下させ、棒を持った男性陣がその周りを囲みます。旗頭の全長は24尺(7.3m)、重量は50~60kgにもなるため、バランスを取るのが難しく、男衆は旗を読み、旗を見せ、勇壮活発な力を披露します。



#### 棒術

小波津区で継承される伝統の棒術は、毎年旧暦8月15夜の潮、御嶽や持所の前庭で青年らが棒術を披露する。獅子舞と同じく、その威勢によって災厄が滅せると信じられており、小波津地区では豊作を祈願し演じられる。



#### 小波津7年まーる村遊び

小波津区で6年おきの卯年と酉年に催される伝統行事。明治のころから地域の豊年祝いとして開催されている。一時途絶えていたが、平成17年に復活を遂げた。



#### 棚原12年まーるあしび

西原の旧暦8月15日に棚原区で行われる。12年に1度の伝統行事。豊穡の神「ミルク加部志(ガナシ)」の誕生を祝い、遊び(アシビナー)でのミルクドゥイの後、豊年と平安を祈願し、境舞や組踊が披露される。

# 西原まつり

西原まつりは、2年ごとに行われます。  
町内各地域の伝統芸能や、町内のさまざまな団体による演技、演舞、  
ゲストによるアトラクションなどがステージで繰り広げられます。  
まつり期間中、会場は子どもからお年寄りまで多くの人出でにぎわいます。

## The Nishihara Festival

The Nishihara festival is held every two years.  
Performances of traditional arts are held featuring the acting and dance groups  
From each district of Nishihara, as well as guest attractions.  
During the festival, the venue is thronged with visitors, from children to the elderly.



# 文 教 の ま ち に し は ら

平和で人間性豊かな  
まちづくり

安心して環境にやさしい  
まちづくり

健康と福祉の  
まちづくり

豊かで活力のある  
まちづくり





西原町の文数

# 平和で人間性豊かなまちづくり

西原町は、平和な世界の創造を目指し、平和活動を推進するため、個人の人間性を尊重し、あらゆる町民が生涯を通して学び、文化を継承発展させるとともに創造していくことのできるまちづくりに努めています。

## Peaceful and Human-centric Community Development

Seeking to create a peaceful world, Nishihara undertakes various peace activities. Respecting people's individual nature, we strive to develop a community in which culture is passed on and developed, and where every citizen can pursue lifelong learning.



### 世界に羽ばたく西原高校マーチングバンド

40th Anniversary JMA CONTEST



西原町平和音楽祭での黙禱

## 文教のまち西原

平和で人間性豊かなまちづくり

平和で人間性豊かなまちづくり

### 平和行政

本町は去る大戦で激戦地となり、当時の住民の約半数近くの尊い命と多くの財産、そして貴重な文化遺産や自然を失いました。平和行政の推進は町政の最重要課題として位置づけられており、沖縄戦の悲劇を忘れることなく「命どう宝」を後世に語り継ぎ、平和な社会建設に努めています。

### Peaceful Government

Nishihara was the site of fierce battles in the Battle of Okinawa. Approximately half of the residents lost their lives and besides this irreplaceable loss, property, valuable heritage and environmental resources were lost. Peaceful government is positioned as the most important issue for the town administration, and we are working to build a peaceful society by ensuring that the tragedy of the Battle of Okinawa is not forgotten and by passing on the respect for life to posterity.

#### 平和月間

本町では6月を「西原町平和月間」と定めています。平和事業の重点的施策（西原町平和条例）の推進と相互の関連性を持たせ、住民、地域、学校、大学、企業、行政や関係団体が一体となって、平和音楽祭をはじめとする事業を実施し、平和行政を推進しています。

#### 平和音楽祭

毎年6月23日に開催。戦争を風化させないため、反戦意識の再確認と、音楽文化を通して平和と命の尊さを考える機会を図ります。



西原町戦没者追悼式



西原町平和音楽祭

### 国際交流

沖縄県は、歴史的・地理的特性と国際性豊かな県民性を活かした国際交流拠点として、大きな期待が寄せられています。本町は戦前・戦後を通じて諸外国に多くの移民を送り出した移民母町です。近年は琉球大学・キリスト教学院大学などに多くの留学生や帰国子女が勉学に励んでおり、諸外国人との交流の場に恵まれています。そこで、各種国際交流事業を推進し、交流の親善と国際化に対応できる人材育成に努めています。

### International Exchange

With its historical and geographical characteristics and the cosmopolitanism of its people, Okinawa Prefecture has a bright future as a venue for international exchange. Both before and after the war, Nishihara sent many immigrants to various foreign countries. In recent years, many international students and returnees from abroad are studying at the Okinawa Prefectural University of the Ryukyus and Christian University, making Nishihara an excellent environment for exchanges with various foreign nationals. Therefore we undertake a variety of international exchange projects, and work to develop people who can promote international goodwill and exchanges.

#### 海外移住者子弟研修生受入事業

これまでの在外町人の活躍は、母町にとって大きな誇りであるとともに、国際化時代の今日、国際交流事業を進めていく上で、その担い手として重要な役割を果たしています。そこで本町では、母町と在外西原町人会との絆を深め、なお一層国際交流を進展させるために、1990年から西原町海外移住者子弟研修生受入事業を実施し、ブラジル、ペルー、アルゼンチンの3カ国から毎年研修生を受け入れています。

#### 中学生海外短期留学派遣事業

国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図るため、町内中学2年生を対象にハワイへの留学派遣を実施しています。



小波津自治会慰霊祭



中学生海外短期留学

## 2012年度西原町海外移住者子弟 研修生（第23期生）修了式

GOYA MARIELA ROXANA  
TAMANAHASATO VINICIUS SADA  
MIYAHIRA JOCELYN RITSUKO



海外移住者子弟  
研修生（第23期生）修了式



西原中学校の授業風景



坂田小学校

## 学校教育

児童生徒の豊かな心と確かな学力の形成を目指し、教職員研修の充実強化、学校規模・配置の適正化、校舎や施設の整備、教材・備品の拡充、教育課程の改善・充実、平和教育、福祉教育、安全教育、情操教育、国際学習、食育、特別支援教育等の推進など、学校・地域・家庭が一体となって基礎学力向上の推進に努めています。

また、いじめ、不登校問題の解消に向けた教育相談室やスクールカウンセラーの配置、地域住民の教育力を活用した学校支援地域本部の展開、大学などと連携した教育活動の充実発展に取り組んでいます。

## School Education

In order to give the students richness of spirit and sound academic ability, schools, community and family work together to enhance basic scholastic ability. This involves improving faculty and staff training, optimizing school size and catchment area, provision of school buildings and facilities, expansion of teaching materials and equipment, improvement and consolidation of educational programs, education in peace, welfare, safety, and aesthetic sensibility, international studies, dietary education, special needs education and so on.

In addition, education help desks and counseling are available to address issues such as bullying and refusal to attend school, and a school support regional headquarters using the educational abilities of local people has been established. Efforts are also being made to coordinate education with the educational activities of universities.

## 教育環境

本町は、公立幼稚園4園、私立幼稚園1園、小学校が4校、中学校が2校、県立高校が1校、国立と私立合わせて大学4校が立地する、恵まれた教育環境を有しています。また、児童生徒の規模に応じた適正な学習環境の確保・整備に努めています。

## Educational Environment

Nishihara has a well-endowed educational environment with 4 public kindergartens, 1 private kindergarten, 4 elementary schools, 2 junior high schools, 1 prefectural senior high school, and 4 national and public universities. To ensure an appropriate learning environment in accordance with the number of students, the school environment is adjusted in response to demographic changes through adjustment of school districts.



坂田小学校

西原小学校

西原東小学校

西原南小学校

西原中学校

西原東中学校

### 情報教育

本町では、小学生からコンピュータを活用した授業に取り組んでいます。総合的な学習の時間や各教科での活用を行っています。

### 平和学習

町内に住んでいる戦争体験者などが平和の語りべとなり、子どもたちに戦争体験を伝承、平和の尊さを教えています。

### 職場体験～チャレンジウィーク～

町立中学校の2年生全員が4日間学校を離れ、職場体験学習「チャレンジウィーク」を行っています。「チャレンジウィーク」には町内約100の各店舗や事業所などが協力し、生徒たちに仕事のやり方や社会人としての心構えを教えます。また、町立小学校の6年生が親の職場等で1日職場を体験する「チャレンジデー」を実施しています。



西原南小学校の読み聞かせ

### 西原町教育の日

本町では2月の第1土曜日を「西原町教育の日」と定めています。教育に対する意識と関心を一層高め、名実共に「文教のまち西原」の充実を図る事を目的として、各種事業を展開しています。

### 学校給食

栄養バランスの取れた安全でおいしい給食を提供することで、児童生徒の心身の健全な発達、正しい食習慣の形成などを図っています。



中央公民館講座



西原町陸上競技大会

## 社会教育

町民の一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習体制の確立、文化・スポーツ活動などを含めた多様な学習活動推進施策を実施しています。また、自主的・自発的に活動する各種団体の育成と指導者の養成のため、組織体制の確立や社会教育活動の充実に努めています。

## Social Education

To enable residents to develop their own individual character and to lead rich lives, Nishihara has established a lifelong learning system that enables everybody to study, anywhere, at any time. Diverse range of learning activities is offered, including culture and sports. In addition, we are working to establish an organizational structure and social educational activities to train various organizations and leaders involved in voluntary and autonomous activities.

## 社会体育

西原運動公園には町民体育館、町民陸上競技場、夕陽の広場、パークゴルフ場、町民テニスコートなどが整備され、スポーツ活動の拠点施設として町民の健康維持・増進、体力づくりに活用されています。また、学校体育施設の開放や各種スポーツ教室、指導者講習会、町民スポーツ大会などの事業を推進しています。

## Social Physical Exercise

As main sports activity facility, Nishihara Sports Park is provided with a public gymnasium, athletics stadium, sunset plaza, park golf course, tennis courts and other facilities to promote and maintain the health of residents. In addition, schools and sports facilities are open to the public, and various sports classes, leadership courses and public sports events are held.



西原町民テニスコート



元プロ野球選手による野球教室



西原町立図書館

### 西原町立図書館

利用者は県内でも上位に入る西原町立図書館。生涯学習の拠点として多くの町民に利用されており、利用者のニーズに応えられるよう、資料の整備を進めています。



西原町中央公民館

### 西原町中央公民館

各種事業や講座、サークル活動などが展開され、成果を発表する機会となっています。さらに生涯学習活動の機会や情報を提供し、各種団体の活動拠点としても活用されています。





バレーボールのまち宣言の碑

## スポーツ振興

西原町はバレーボールが盛んで、小中学校、高校、一般までたくさんの町民がバレーボールに親しんでいます。選手の努力と指導者の熱意で競技力の高さを県内外で示しており、数々の大会で素晴らしい成績を収めています。

体育施設や公園が整備され、各種スポーツ競技の大会やアスリートのトレーニングに活用されるなど、スポーツを通じた地域振興が推進されています。

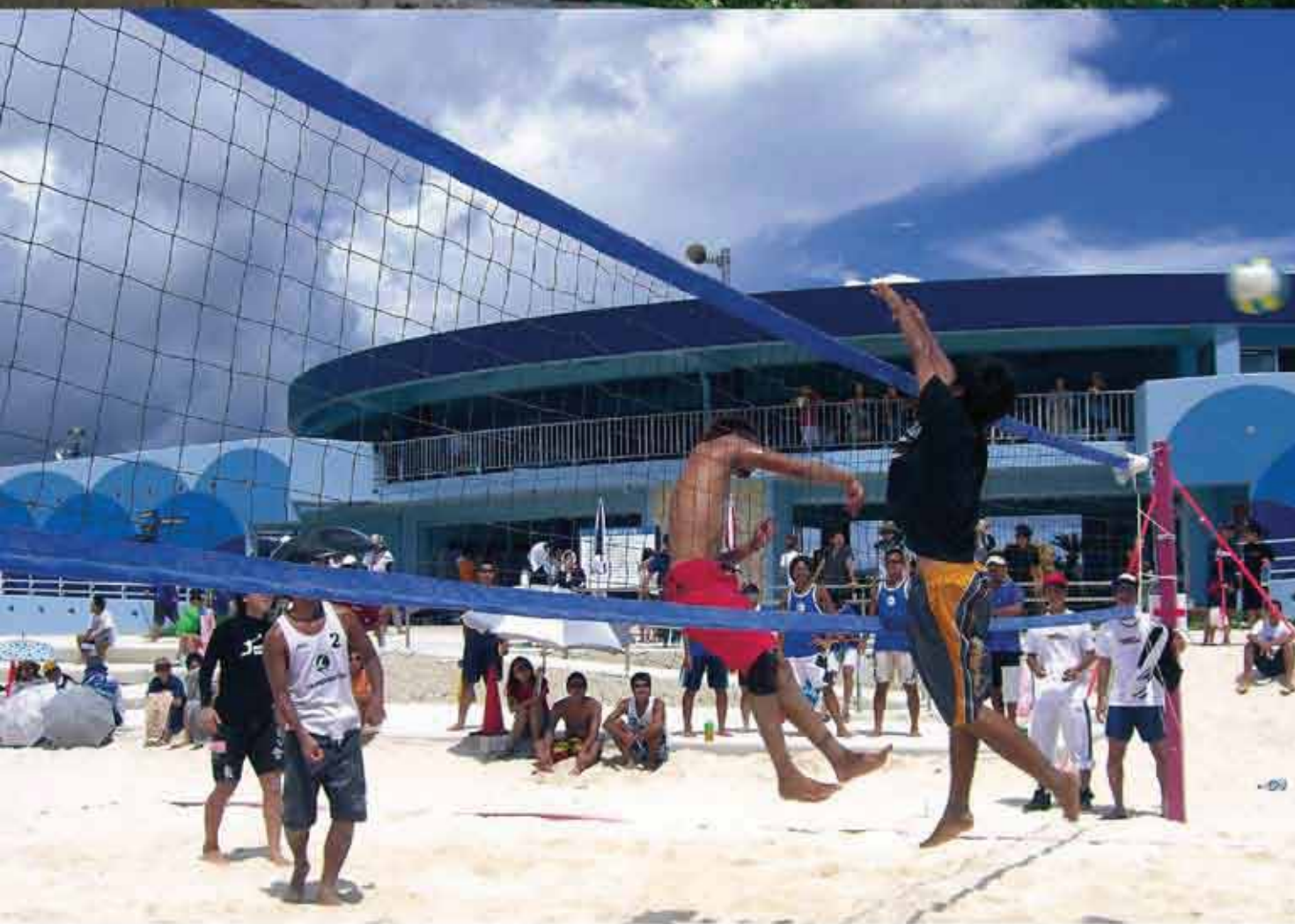
## Sports Promotion

Volleyball is very popular in Nishihara, and many residents take part in the sport, from elementary and junior high school students to high school students and the general public. The efforts of the players and enthusiasm of the coaches make our teams competitive both within and outside the prefecture, and they have achieved outstanding results in many tournaments.

Nishihara has sports facilities and parks which are used for various sporting events and athlete training, with the aim of promoting regional development through sports.



西原町民陸上競技場で行われたサッカーの試合



西原マリンパーク きらきらビーチ

### バレーボールのまち西原

西原町は平成17年12月に「バレーボールのまち西原」を宣言しました。バレーボールをはじめとしたすべてのスポーツを推進し、青少年と町民に夢と希望を与え、明るく活気に満ちた西原町を築いていくために、次の目標を掲げています。

- 1. バレーボールを通して、次代になう青少年を育成します。
- 1. バレーボールを通して、健康な心とからだをつくります。
- 1. バレーボールを通して、交流の輪を広げ友情を育みます。
- 1. バレーボールを通して、明るく活気に満ちた西原町を築きます。

平成17年12月3日 西原町

### ビーチバレー各種大会、ビーチバレー教室

マリンタウン地区に整備された西原きらきらビーチは、マリンスポーツも盛んです。特にビーチバレーは大規模な大会が開催されたり、国際的に活躍する選手がトレーニングに活用しています。

### スポーツコンベンション

西原町内には各種運動施設が整備されています。西原町民陸上競技場は、県内有数の良質な芝と評価されており、国内外のプロサッカーチームなどに利用されています。そのほか、東崎公園や西原町民体育館などの施設がさまざまな競技に活用されており、スポーツの活性化が図られています。





榎原神楽太鼓（榎原区）



男女共同参画の一端で、幼稚園、小中学校は男女混合名簿を採用している

## コミュニティ活動・地域活性化

活力に満ちた明るく住みよい地域社会の形成に向けて、各自治会の自主的な地域自治活動を促進するなど、コミュニティ活動を推進しています。

また、各地域の伝統や文化の継承・発展を目指し、さまざまな事業が展開されています。

## Community Activities and Local Development

In pursuit of a dynamic and open local community, each residents association undertakes independent community activities. In addition, each district carries out various projects with the aim of passing on and developing local traditions and culture.



小波津自治会の字誌「小波津誌」



小波津団地自治会35周年記念式典



梅の香りうた遊び大会（小那覇区）

### 自治会

自治会は、そこに住む住民が相互に協力・交流を図りながら親睦を深め、地域をよくしていこうという住民総意により結成された団体です。西原町では32行政区すべてに自治会が組織されており、各自治会が自主活動を通して地域の連帯感を高め、住みよい環境をつくっていくために公的機関との連携も図りながら幅広く活動しています。

1. 安全安心への活動  
地域の安全を守るため、交通安全の街頭指導や青少年健全育成における夜間パトロールへの参加、防犯灯設置における行政への要望等も行っていきます。
2. 福利厚生（住民の親睦）の活動  
住民相互の連絡、盆踊り・敬老会等の開催やいいあんべ事業（デイサービス）を取り入れるなどしています。また、各種募金の取りまとめも行っていきます。
3. 環境整備への活動  
活動の場となる集会所の運営・管理、児童公園や拝所の清掃など、区民のみならずが施設を利用しやすいよう環境整備の活動を行っています。
4. 行政連携への活動  
町広報紙の配布や関係機関からのポスター掲示・各種広報物の配布への協力などを行っています。また、放送設備を利用した周知も行っていきます。

### 男女共同参画

本町では、男女共同参画社会の実現を目指した各種行政施策を推進するため、平成25年3月に第3次男女共同参画計画「さわふじプラン」を策定し、計画的、体系的な事業執行に努めています。

また、県内で唯一、平成16年から町内の全幼稚園、小中学校に男女混合名簿を採用しています。

西原町が目指す姿=7つの基本理念  
(西原町男女共同参画推進条例第3条)

- (1) すべての人が性別にかかわらず個人の能力を発揮でき、人権が尊重されること。
- (2) すべての人が互いの性を理解し合い、妊娠、出産などの健康と権利が尊重されること。
- (3) あらゆる分野の教育の場において、男女共同参画が実現されるよう配慮されること。
- (4) 性別による固定的な役割分担意識が、活動の自由な選択に影響しないこと。
- (5) すべての人が社会の対等な構成員として、決定に参画する機会が確保されること。
- (6) 家族を構成するすべての人が子育て、介護などの活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、職場、地域等における活動と両立できるよう配慮されること。
- (7) 男女共同参画の推進は、国際社会における取組みと協調の下に行われること。



東部消防組合消防本部の消防士による救助訓練



AED(自動体外式除細動器)の講習

文教のまち西原

# 安心で環境にやさしい まちづくり

西原町では、安心で環境にやさしいまちづくりを目指して、町民の身体、生命や財産の安全を確保するとともに、総合的かつ機能的な危機管理の体制を強化するため、町民や事業者、関係機関との協力、連携及び相互支援を図っています。また、相互に助け合って活動することができるよう、地域社会での連帯意識を深めています。

自然環境への配慮として、循環型社会の形成、地球温暖化対策、河川の水質改善など、環境にやさしい快適な生活空間の形成に努めています。

## Development of Safe and Environmentally Friendly Community

Nishihara aims to develop safe and environmentally friendly community. Besides securing the health, life and property of residents, we promote cooperation and mutual support between residents, businesses and related agencies towards enhancing the functions and overall capabilities of our risk management systems. In addition, we seek to increase the feeling of solidarity of the local community in able to achieve mutual assistance.

In consideration of the natural environment, we are striving to create a comfortable and environmentally responsible living space, such as establishment of recycling society, global warming countermeasure and fluvial water improvement.



美ら島清掃活動



西原東中学校避難訓練



心臓マッサージを学ぶ



西原町総合防災訓練のようす

## 防犯・防災

安心して暮らせる安全なまちづくりを推進するため、警察や消防をはじめとする関係機関と連携して施策を推進しています。

## Crime and Disaster Prevention

In order to achieve a safe and secure community, we are liaising with various related agencies including the police and fire department.



東部消防ファイヤーフェスティバル救助体験



交通安全立哨



春の全国交通安全運動出発式

### 交通安全

住民の安全確保と交通事故の未然防止のため、交通安全施設の整備促進、住民への交通安全指導や広報啓発活動などを実施しています。

### 防犯

地域安全活動などを通して、犯罪のない明るく住みよい地域社会の形成を図っています。

### 消防

町民の火災予防と防災意識を高めるとともに、消防・防災体制の強化に向けて、東部消防組合などと一層の連携・強化に努めています。

### 防災行政

東日本大震災を契機に防災への関心が高まる中、災害から町民の生命や財産を守るため、平成25年3月に新しい地域防災計画を策定し、計画に基づいた災害への備えや災害対策を実施しています。また、災害時に搬送が必要な住民を支援する「災害時要援護者リスト」を整備しています。



暴力団排除を目指し、警察と連携



西原台団地防災訓練



美ら島清掃活動



道路河川愛護デー

### 環境保全対策

多様化する環境問題に対し、廃棄物を減らし資源として再利用するなど、循環型社会の形成が求められています。本町では指定ごみ袋の利用とごみの分別、リサイクルなどを推進するとともに、不法投棄対策や循環型社会の推進などを図っています。

また、地球温暖化防止に向けた省資源・省エネルギー・新エネルギーを促進しています。

生活環境の保全のため、生活排水の対策を進めることで河川の水質改善を図っています。

### Environmental Protection

In response to diverse environmental issues, we are seeking to achieve a sustainable society by reducing waste and reusing resources. Nishihara promotes measures against illegal dumping by promoting the use of designated garbage bags, material separation and recycling in order to achieve a sustainable society.

We are also working to combat climate change with resource and energy saving measures, and new energy initiatives.

In order to protect the living environment, we seek to improve the water quality of rivers by promoting effective treatment of domestic wastewater.



美ら島清掃活動

### 緑のリサイクル事業

燃焼させると膨大なエネルギーが必要な草木類をリサイクルする事業です。一般家庭や公共施設などから発生する草木類をチップ化したものを発酵させ、有機質堆肥「かえるくん」を生産しています。「かえるくん」は家庭菜園や草花の培養、農家の使用する堆肥として還元されています。

### 上下水道

水道は健康で文化的な日常生活を営む上で、なくてはならないもので、安全でおいしい水を安定的に供給することは重要な役割です。住民の水需要に対応するため、水道施設の整備や節水意識の周知に取り組んでいます。

下水道の普及は私たちの生活環境の向上、公共用水域の水質保全につながります。本町の公共下水道は平成8年に供用開始し、整備区域の拡大と接続率向上に取り組んでおり、今後も下水道への理解を広め、より一層快適な生活環境づくりに努めていきます。



太陽光発電パネル



水道週間パレード



下水道の日



有機質堆肥  
「かえるくん」

# 西原町イラストマップ



1 西原町新庁舎完成予想図



2 内閣御殿



3 西原町立図書館



4 西原運動公園



ボランティア講習を受講する中学生



あがりティーダウニング

文敷のまち西原

# 健康と福祉のまちづくり

町民の相互理解と協力のもと健康増進及び福祉の向上を推進するため、地域社会における町民の連帯意識を深めるよう努めています。また、生活基盤整備にあたっては、町民に心理的及び物理的な障壁を感じさせないまちづくりを進めています。

## Community Development for Health and Welfare

In order to promote mutual understanding and cooperation between residents towards improving health and welfare, we strive to build solidarity within the local community. In addition, we are seeking to develop a community where local infrastructure imposes no psychological or physical impediments.



- 健康増進
- 福祉の向上
- 理解と協力・連携意識
- 障壁を感じないまちづくり



### すべての町民に充実した福祉を

障がい者や高齢者、児童などを含む全ての町民が、生きがいのある豊かな生活を送ることができる、明るく住みよい社会を実現するために、保健・医療・福祉の調和のとれた総合的な地域福祉の充実に努めています。



特定保険指導



3世代交流事業



読みきかせイベント「あつとーめーのささやき」



特定健診の集団健診



2歳児歯科健診



西原町ブックスタート事業

## 保健衛生

町民の健康保持・増進に向け、各種予防接種や健診、健康相談事業などの疾病予防対策を強化し、町民の健やかな暮らしを目指します。

### Health and Hygiene

To promote the health maintenance and improvement of residents, Nishihara provides preventive healthcare such as a vaccinations, medical checkups, and health consultations.

## 地域福祉

町民の多種多様なニーズに対応した活力あるふれあいのまちを築いていくため、町民相互の助け合いや交流の輪を広げ、ともに支え合う地域社会づくりを推進しています。

### Community Welfare

We aim to achieve a lively, friendly and mutually cooperative local community that meets the diverse needs of its residents.

#### 保健予防事業

健康づくりの第一歩は、自分の体の状態を知ることから。本町では、ライフステージやニーズに合わせて各種健診事業を実施しています。町民自身や家族に適した健診を受診し、健康づくりを図っています。

- 特定健診
- がん検診
- 1歳半健診
- 20代・30代健診
- 女性のがん検診
- 3歳児健診
- 高齢健診
- 乳児一般健診
- 2歳児園科健診

#### ボランティア

ボランティアの機能充実強化を通じて、地域福祉の推進に取り組んでいます。



食生活改善推進員



大学生ボランティア主催のイベント



母子保健推進員



西原東中学校ボランティア清掃





こいのぼり掲揚式



児童館文化講座のこいのぼり

## 社会福祉

児童、高齢者、障がいを持つ人、母子・父子家庭など、社会的に支援が必要な立場にある人々への思いやりとぬくもりのあるまちづくりを目指しています。

保育所や児童館などの整備・拡充、町社会福祉センターを拠点とした社会福祉活動の充実・強化、高齢者の社会的活動への参加促進、健康・生きがいづくりとしていいあんべー共生事業、シルバー人材センターの充実・強化を図ります。

在宅高齢者に対しては、自立へ向けた介護予防・生活支援事業の推進に努めています。

## Social Welfare

Nishihara seeks to build a caring and supportive community that takes into account the needs of citizens who require social support, whether children, seniors, people with handicaps, or single parent families.

We are working to consolidate the town's social welfare centers such as day-care centers and children's play centers, and to promote the social participation, health, and quality of life of seniors through social activities such as co-existence program and the Silver Jinzai (elderly human resource) Center.

We are also undertaking care prevention and assisted living projects to support the independence of seniors living at home.



西原町介護の日

### 児童福祉

子育てを支援し、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進するため、保育環境の整備、待機児童の解消、児童館やファミリーサポートセンターの運営など、児童福祉の充実に努めています。また、小児医療費の助成や乳児を持つ家庭への相談支援など、安心して子育てできる環境づくりに努めています。

母子父子家庭については、母子父子家庭等医療費助成を行い、ひとり親家庭への支援を行っています。

### 高齢者福祉

本町の高齢化も年々進行中、介護予防事業を積極的に推進し、高齢者の健康づくりのため、いいあんべー家・いいあんべー共生事業の拡充強化や地域包括支援センターとの連携を図っています。

### 障がい者福祉

障がいを持つ町民が暮らしやすい社会を目指して、生活支援の充実強化や社会参加の促進に努めています。



トーチカ・カジマヤー慶祝事業



児童館のようす



車椅子車輦



ファミリーサポートセンター開設

文毅のまち西原

# 豊かで活力のある まちづくり

西原町は、地域の資源を適切かつ意欲的に生かすことにより、地域産業の活性化、生活基盤等による町民の利便性の向上を図り、豊かで活力あるまちづくりに努めています。

## Ambitious and Dynamic Community Development

By using its regional resources appropriately and ambitiously, Nishihara seeks to revitalize its industry and improve the convenience of local infrastructure for residents, so as to achieve ambitious and dynamic community development.



小那覇交差点



坂田交差点



サトウキビ畑



小那覇工業専用地域



西原西地区土地区画整理事業完成イメージ



西原町庁舎等複合施設は2014年完成予定

豊かで活力のある  
まちづくり

文教のまち西原

## 都市基盤施設の整備

アメニティー豊かな都市空間の形成を確立するため、今後も引き続き、市街地整備や道路、公園、下水道整備など、重点的に整備すべき施策を効率的・効果的に推進します。また、本町には内間御殿や運玉森、傾斜緑地など歴史・文化・景観資源があり、これらを活用し、自然と文化、都市が調和する環境づくりをめざした景観づくりに取り組めます。

### Improving Urban Infrastructure

In order to establish a city with ample amenities, Nishihara will continue to undertake efficient and effective urban district development, providing roads, parks, sewage systems and so on as required. In addition, Nishihara is working to achieve scenery in which Uchima-udun, Untamamui and the sloping park and other historical, cultural and scenic resources are used effectively and in harmony with the natural, cultural and urban environment.

#### 西原町都市基本計画（都市計画マスタープラン）

長期にわたり町民が安全に安心して快適な生活が送れるよう、また、都市の持続的発展のため、本町の目指すべき将来像を描く「西原町都市計画マスタープラン」を平成24年3月に見直しました。

市 街 地		農 業 地	
緑	第一種市街地地区	茶	茶畑
黄緑	第二種市街地地区	茶	茶畑
赤	第三種市街地地区	茶	茶畑
紫	第四種市街地地区	茶	茶畑
青	第五種市街地地区	茶	茶畑
黄	第六種市街地地区	茶	茶畑
白	第七種市街地地区	茶	茶畑
黒	第八種市街地地区	茶	茶畑
赤	第九種市街地地区	茶	茶畑
青	第十種市街地地区	茶	茶畑
黄	第十一種市街地地区	茶	茶畑
白	第十二種市街地地区	茶	茶畑
黒	第十三種市街地地区	茶	茶畑
赤	第十四種市街地地区	茶	茶畑
青	第十五種市街地地区	茶	茶畑
黄	第十六種市街地地区	茶	茶畑
白	第十七種市街地地区	茶	茶畑
黒	第十八種市街地地区	茶	茶畑
赤	第十九種市街地地区	茶	茶畑
青	第二十種市街地地区	茶	茶畑
黄	第二十一種市街地地区	茶	茶畑
白	第二十二種市街地地区	茶	茶畑
黒	第二十三種市街地地区	茶	茶畑
赤	第二十四種市街地地区	茶	茶畑
青	第二十五種市街地地区	茶	茶畑
黄	第二十六種市街地地区	茶	茶畑
白	第二十七種市街地地区	茶	茶畑
黒	第二十八種市街地地区	茶	茶畑
赤	第二十九種市街地地区	茶	茶畑
青	第三十種市街地地区	茶	茶畑



#### 西原町庁舎等複合施設

西原町庁舎等複合施設は、西原町役場の新庁舎と地域防災センター、地域交流センター、保健センターが併設された複合施設です。町民の安全、安心な暮らしを支える拠点となり、人に優しく、地球環境に配慮した機能的で開かれた施設になります。また、新たな交流と活力を創造する「コンパクトで多機能な複合施設」として、町民から親しまれ、永く愛される魅力ある施設を目指し、建設が進められています。施設は2014(平成26)年3月に完成予定です。

#### 道路・公園・河川

住民生活及び産業活動に不可欠な安全性と利便性を確保し、快適で住みよい生活環境の整備を図るため、町道整備や道路ネットワークの拡充強化、公園・緑地の整備、環境を考慮した河川整備等に取り組んでいます。

#### 小波津川河川改修事業

小波津川は宇池田付近の丘陵に源を発し、中城湾へ注ぐ河川です。近年、河川周辺の都市化が進んでおり、降雨時にたびたび氾濫を起こすなど治水安全度の低下が懸念されています。そこで、地域と一体となった川づくりを目指します。また、小波津川の河川工事は、動植物の良好な生育環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出する「多自然川づくり」を目指しています。

#### 西原西地区土地区画整理事業

西原西地区は本町の北西部に位置し、県道沿線に住宅と商業施設が立地、その後背地には農地、傾斜地には原野が多く存在します。近年、人口流入が集中し、県道の整備計画もあることから、都市基盤の整備、良好な住宅地の確保と賑わいのある商店街及び地域コミュニティの向上を図っています。(施工期間は平成18年度から28年度まで予定)



小波津川河川改修事業



町道小那覇マリントウン線開通式



豊かで活力のある  
まちづくり

文教のまち西原

## 農林水産業

本町農業の基幹作物であるさとうきびをはじめ、都市近郊の地理的利点を生かした園芸農業、牛・豚・山羊などの畜産業、水産業の振興を図っています。

### Agriculture, Forestry and Fisheries

We are working to promote the development of Nishihara's main agricultural industry, sugar cane, as well as market gardening using the geographical advantages of the city suburbs, livestock industry involving cattle, pigs and goats, and fisheries.



さとうきび畑



西原町畜産共進会



耕作放棄地解消対策事業で開発した加工品

### 耕作放棄地解消対策事業

遊休農地の解消、担い手の育成・確保などを図るため、西原町では「西原町耕作放棄地解消対策協議会」を組織し、検討を重ねています。平成23年11月には(株)農業生産法人西原ファームを設立し、耕作放棄地解消と再生農地での農産物の生産拡大を推進しています。

## 商工業

西原町は小那覇・東崎の工業専用地域を中心に、製造業で県内トップクラスの規模を誇ります。地元企業への公共事業の優先発注、町産品優先使用など、町内企業の育成を図るとともに、工業専用地域への企業誘致を推進しています。そのため、西原町商工会と連携を深め、商工業の振興を図っています。

### Commerce and Industry

Nishihara boasts the largest scale manufacturing industry in Okinawa, centered on the Onaha/Agarizaki exclusive industrial zone. In addition to fostering local companies by giving priority orders to local business for public projects and using local products, we seek to attract businesses to the exclusive industrial zone. Therefore we are working to improve our coordination with the Nishihara Chamber of Commerce in order to promote the development of commerce and industry.

### 観光振興

西原町はゴルフ観光や、マリンタウン地域の海浜レクリエーション空間が賑わいを見せています。さらに、国指定の文化財「内間御殿」をはじめとした、町内の地域資源の発掘と活用を推進するなど、観光基盤の整備に取り組んでいます。



雇用サポートセンター

### 雇用行政

依然として深刻な雇用情勢をふまえ、平成22年に「西原町雇用サポートセンター」を設置し、町民の雇用機会の創出・拡充を図っています。

# 西原町の特産品



## 西原の黒糖

西原はかつて県内で有数のサトウキビ産地でした。「大城式甘蔗圧搾機玉車」を発明し、沖縄の糖業の発展に大きく貢献した大城助素の生まれた地でもあり、平成11年までは大きな製糖工場が立地していました。このように、西原町は黒糖と縁の深い地域です。また、昔から地域では手づくりの製法で黒糖が作られていました。2年に1度開催される「西原町の産業まつり」では、自治会が対抗で黒糖作りを競う「シージョウスープ」が開催され、たくさんの町民が参加します。



## シマナーを活用した加工品

耕作放棄地解消対策事業(54ページ記載)の一環として、沖縄県が指定している伝統的地域農産物島野菜のひとつ、シマナーの生産とシマナーを活用した特産品の開発に取り組んでいます。シマナーは一般的にはカラシナと呼ばれ、古くから沖縄の食生活になじみのある葉野菜です。独特の苦味が特徴で、沖縄では塩漬けにしたり、炒め物やおひたしにして食べています。ビタミンA、カルシウム、カリウム、鉄分などを多く含む、栄養豊かな健康食材です。

## 西原町産品を買うなら… やさい市場(JAおきなわ西原支店)



西原の消費者と生産者をつなぐ拠点。西原のすぐりむん、まーさむんが集約!

JAおきなわ西原支店の購買部にある「やさい市場」は、西原町をはじめ近隣市町村で生産された農産物や農産加工品などを販売するお店です。平成25年2月4日にオープンし、常時40品目程度の野菜のほか、果樹や花、惣菜などが販売されています。本町で推進している耕作放棄地解消対策と農商工連携の一環として、地産地消の推進、農業生産体制の確立を目指しています。



## 塩せんべい

小麦粉を主原料に焼き上げたシンプルなお菓子です。サクッとした食感と小麦の香ばしい香りは、業界ナンバーワンです。食品添加物は一切使用していませんので、お子様からお年寄りまで安心してお召し上がりください。  
■(株)サンシオ TEL.098-944-6543



## 豆乳プリン

北海道産の牛乳をふんだんに使用した「クフルプリン」をベースに、西原の名店「我謝豆腐」を合わせて誕生した豆乳プリン。なめらかな口当たりと優しい味わいが人気の秘密です。  
■Patisserie Couple (パティスリー クフル) TEL.098-963-9363

## 古酒(くーす) ケーキ

熟成した「古酒(くーす)」をふくんだ、白く、きめの細かいしっとりとしたスポンジ。ほどよい甘さと、芳醇な香りがクセになる、大人のケーキです。  
■オキコ(株) TEL.098-945-5021



## 西原町商工会推奨 「天使金丸」

西原町商工会の創立30周年を記念してつくられた泡盛の記念ボトル。西原町と歴史的・文化的に特に縁の深い金丸(後の第二尚氏始祖・尚円王)をモチーフにデザイン化したラベルになっています。  
■西原町商工会 TEL.098-944-6543  
■(株)石川酒造場 TEL.098-945-3515



## 泡盛・もろみ酢・琉球梅酒



〈泡盛〉昔ながらの製造技術を継承した県内唯一の壺仕込泡盛はゆたかな風味が特徴です。  
〈もろみ酢〉もろみ酢は、1973年に世界で初めて、石川酒造が開発・商品化しました。もろみ酢は健康飲料として注目され人気があります。  
〈泡盛梅酒〉「南高梅」・「鶯宿梅」の2種類の梅を泡盛に漬け込んだこだわりの泡盛梅酒です。  
■(株)石川酒造場 TEL.098-945-3515



## 町章

町章は、昭和43年7月に制定され、町名の頭文字の「西」を図案化し、円は町民の融和団結を、翼は町勢の雄飛発展の姿を表現、輝く西原町の将来を簡明に力強く象徴したもの。

## 西原町民憲章

わたしたちは、西原町民としての自覚と誇りをもち、「人間性豊かな文教のまち」をめざし、恵まれた地理的条件を生かし、明るく住みよい平和なまちを作るため、この憲章を定めます。

- 一、わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。
- 一、わたしたちは、つねに学び、文教の高いまちをつくりましょう。
- 一、わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。
- 一、わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。
- 一、わたしたちは、時間を守り、すすんであいさつをしましょう。

昭和57年11月1日制定

## 西原町歌

作詞 岡本淳三  
作曲 渡久地政一

1 太平洋を 越えてくる  
潮のかおりの さわやかさ  
デイゴの花の ほほえみに  
かがやく空よ 野よ海よ  
ああ 西原は わがまちは  
永久の幸福 誓うまち



町木 ガジマル

2 西原富士を仰ぎ見る  
眉に希望の 陽がおどる  
働く汗に こたえつつ  
豊かに育つ さとうきび  
ああ 西原は わがまちは  
若い息吹が はずむまち



町花 ブーゲンビリア

3 人の和かたく 結び合い  
めざす理想の まちづくり  
歴史にかおる ふるさとに  
文教の鐘 鳴りわたる  
ああ 西原は わがまちは  
栄え果てなく 伸びるまち



町花木 サワフジ(さがりばな)

## 西原町音頭

作詞 岡本淳三  
作曲 譜久原恒勇

1 潮路はるかに 海原晴れて  
空の青さが 目に沁みる  
幼なじみの 西原富士は  
けさも緑の 裾を引く  
※ウネ! 西原町 アリ! シンカぬ達  
踊り踊ればな 心も丸くなる

2 まねく小菊に ほほえむデイゴ  
つづく果てない キビ畑  
稔りゆたかな 西原平野  
汗の笑顔に 陽がひかる  
※くりかえし

3 内間御殿のあの石垣に  
偲ぶ歴史の 夢のあと  
花の文化を 育てた土に  
若いこだまが 明日を呼ぶ  
※くりかえし

4 鐘が鳴る鳴る 学園都市に  
誓う明るい まちづくり  
明日をめざして 希望に燃えて  
つなぐ手と手の あたたかさ  
※くりかえし

## 資料編

DATA NISHIHARA

### CONTENTS

人口	60
面積	60
気象	60
歴代町村長	61
歴代助役	61
歴代収入役	61
歴代議長・副議長	61
財政	62
建設	62
産業	63
社会福祉	63
保健衛生	64
水道	64
教育	65
選挙	65
消防および治安	65
町内官公署および団体案内(主要施設)	66

●人口

国勢調査人口の推移

Table showing population trends from 1926 to 2022, including total population, male/female counts, and changes from previous years.

資料:国勢調査

住民登録人口及び世帯数の推移

各年12月末現在

Table showing trends in registered population and household counts from Heisei 1 to Heisei 23.

人口密度の面積は、昭和21年から昭和46年までは14.75km<sup>2</sup>、昭和47年から49年までは15.41km<sup>2</sup>、昭和50年から63年までは15.40km<sup>2</sup>、平成元年からは15.24km<sup>2</sup>、平成11年(10月1日)から15.32km<sup>2</sup>、平成12年(10月1日)から15.57km<sup>2</sup>、平成15年(4月1日)から15.67km<sup>2</sup>、平成16年(10月1日)からは15.84km<sup>2</sup>とする。

資料:住民基本台帳

人口動態

Table showing demographic statistics including natural changes (births, deaths) and social changes (immigration, emigration) from Heisei 10 to Heisei 22.

資料:総務部民生課

●面積

町の総面積

(単位:km<sup>2</sup>)

Table showing the total area of the town from Heisei 18 to Heisei 22.

資料:税務課

●気象

気温

Table showing monthly temperature and precipitation trends from Heisei 10 to Heisei 24.

資料:気象庁

歴代町長

Table listing past mayors of the town, including name, term start/end dates, and tenure length.

資料:総務部総務課

歴代助役(戦後~)

Table listing past assistant mayors from after the war, including name, term start/end dates, and tenure length.

資料:総務部総務課

歴代収入役(戦後~)

Table listing past revenue commissioners from after the war, including name, term start/end dates, and tenure length.

資料:総務部総務課

歴代議長・副議長(戦後~)

Table listing past presidents and vice-presidents from after the war, including name, term start/end dates, and tenure length.

資料:議会事務局

※直前の助役・収入役・議長・副議長の就任の資料については、戦災により消失。



資料:総務部総務課

●財政

歳入 (単位:円、%)

Table showing fiscal revenue (歳入) by category and year (平成21年度 vs 平成22年度).

資料:一般会計決算書

歳出 (単位:円、%)

Table showing fiscal expenditure (歳出) by category and year (平成21年度 vs 平成22年度).

資料:一般会計決算書

年度別町税徴収状況 (単位:円)

Table showing annual municipal tax collection status (年度別町税徴収状況) by year and item.

資料:一般会計決算書

●建設

用途地域の推移

Table showing land use area (用途地域の推移) by area and year.

Table showing new land use areas (新)用途地域) by area and year.

- List of urban planning decisions (都市計画決定) with dates and descriptions.

資料:都市計画課

町道延長および状況の推移 (単位:m, m)

Table showing the extension and status of town roads (町道延長および状況の推移) over time.

資料:建設課土木課

●産業

農業

Table showing the number of farmers (農家数) by category and year.

資料:2010年農業センサス

Table showing the number of agricultural households by scale (経営耕地面積規模別経営体数).

資料:2010年農業センサス

年別期さとうきび生産の推移

Table showing the trend of sugarcane production (年別期さとうきび生産の推移) over time.

資料:建設部農業課

年別畜産飼養頭羽数 各年12月末現在

Table showing annual stock raising headcount (年別畜産飼養頭羽数) by species.

資料:建設部農業課

農地転用の状況(農地法第4条、5条による) (各年1月から12月)

Table showing the status of agricultural land conversion (農地転用の状況).

資料:農業委員会

●工業

工業の推移 (単位:万円)

Table showing the trend of industrial activity (工業の推移) by year.

注:平成12,15,17年については全数調査である。それ以外の年については概数調査のため、従業員4人以上の統計値である。ただし、平成11,13年は、従業員3人以下の特定業種を含む。

資料:工業統計調査

●商業

商業の推移

Table showing the trend of commercial activity (商業の推移) by year.

資料:商業統計調査

●社会福祉

国民健康保険事業状況 (単位:円)

Table showing the status of National Health Insurance (国民健康保険事業状況).

※平成20年度4月より老人保健医療制度が廃止され後期高齢者医療制度へ移行。

資料:福祉部健康推進課

生活保護状況 各年12月末現在

Table showing the status of life protection (生活保護状況) by year.

※保護率(%)とは、保護人数÷総人口である。

資料:福祉部福祉課



保育所状況 平成23年4月1日現在

Table with columns: 保育所名, 保育士数, 定員, 在籍人員, 所在地, 電話番号, 設立年. Rows include various childcare facilities like 西原保育所 and 西原東保育所.

※(所長, 園長, 主任, 1日6時間以上かつ月20日以上勤務の非常勤職員も保育士数に含む.)

●保健衛生

Table with columns: 年度, 総量(Kg), 一般家庭(Kg), 商業(Kg), 事業用(Kg), 年度, 総量(千t). Rows show trends for 平成14年 to 平成22年.

年度別各種健康診断実施状況

Table with columns: 種別, 年度, 17年, 18年, 19年, 20年, 21年, 22年. Rows include categories like 乳児一般健診, 1歳半健診, 3歳児健診, etc.

※3歳児健診は年度 資料: 福祉部福祉課・福祉部健康課

年別各種予防接種実施状況 (単位:人)

Table with columns: 種別, 年度, 17年, 18年, 19年, 20年, 21年, 22年. Rows include categories like 水痘, 麻疹, インフルエンザ, etc.

資料: 福祉部福祉課・福祉部健康課

※MRI期: 平成18年4月1日より実施, MRI期: 平成18年9月より実施, MRI期・IV期: 平成20年4月1日より実施, ※BCG: 平成19年度より算出方法の変更あり。

●水道

用途別使用水量の推移 各年度3月末現在(単位:m<sup>3</sup>)

Table with columns: 年度, 総量, 家庭用, 商業用, 団体用, 臨時用, その他. Rows show trends from 平成10年 to 平成22年.

資料: 建設部上下水道課

●教育

町立幼稚園園児数および教員数の推移 各年5月1日現在

Table with columns: 年次, 学校名, 生徒数, 学級数, 1学級平均園児数, 教員数. Rows list various kindergartens from 平成17年 to 平成23年.

資料: 教育委員会

小学校の児童生徒数および教員数の推移 各年5月1日現在

Table with columns: 年次, 学校名, 生徒数, 学級数, 1学級平均生徒数, 教員数. Rows list elementary schools from 平成17年 to 平成23年.

※注: ( )内は特別支援学級数, ( )外は普通学級数である。資料: 教育委員会

中学校生徒数および教員数の推移 各年5月1日現在

Table with columns: 年次, 学校名, 生徒数, 学級数, 1学級平均生徒数, 教員数. Rows list middle schools from 平成19年 to 平成22年.

※注: ( )内は特別支援学級数, ( )外は普通学級数である。資料: 教育委員会

●選挙

各選挙別有権者、投票者数

Table with columns: 選挙執行年月日, 選挙執行員, 定員, 立候補者数, 選挙日有権者数, 投票者数, 投票率(%). Rows list various elections from 平成20年 to 平成23年.

資料: 選挙管理委員会

●消防および治安

年・月別火災発生件数 (単位:件数)

Table with columns: 年次, 月別, 総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月. Rows show monthly fire incident trends from 平成17年 to 平成22年.

資料: 東部消防本部

事故別救急出動状況 各年12月末現在

Table with columns: 種別, 年次, 急病人, 交通事故, 一般負傷, その他, 合計. Rows show emergency response trends from 平成18年 to 平成22年.

資料: 東部消防本部

年別・交通事故発生状況 (単位:件、人)

Table with columns: 年次, 種別, 発生件数, 死亡, 重傷, 軽傷, 合計, 死者数, 重傷者数, 軽傷者数, 合計. Rows show traffic accident trends from 平成15年 to 平成22年.

資料: 沖縄県交通白書

●町内官公署および団体案内(主要施設)

名 称	所 在 地	T E L
西原町役場	西原町字嘉手苺112	
総務部		
総務課・選挙管理委員会	〃	098-945-5011
企画財政課(政策・財政・地域振興・統計係)	〃	098-945-4533
企画財政課(男女共同参画・広報係)	〃	098-945-5340
企画財政課(電算係)	〃	098-945-5031
町民生活課(住民係・戸籍係)	〃	098-945-5012
町民生活課(環境保全係)	〃	098-945-5018
会計課	〃	098-945-5193
税務課	〃	098-945-4729
庁舎等集合施設建設課	〃	098-945-5029
福祉部		
福祉課	〃	098-945-5311
介護支援課	〃	098-945-5013
健康推進課	〃	098-945-4791
土木課	〃	098-945-4415
産業課	〃	098-945-4540
都市整備課(都市計画係・建築係)	〃	098-945-4496
都市整備課(区画整理計画係・工事係・接地区・補償係)	〃	098-945-5041
上下水道課	西原町字小橋川1154-1	098-945-4934 098-945-4879
教育部		
教育総務課(教育総務係)	西原町字嘉手苺112	098-945-3655
教育総務課(学級係・指導係)	〃	098-945-5039
生涯学習課	〃	098-945-5036
教育相談室	〃	098-944-3603
西原町学校給食共同調理場	西原町字新長320	098-945-4935
西原町立図書館	西原町字与那城152-5	098-944-4996
西原町中央公民館	西原町字与那城124	098-945-3657
西原町民体育館	西原町字新長956	098-945-8095
西原町民テニスコート	西原町字新長305	098-945-1444
西原町民パークゴルフ場	西原町字奥屋348-2	098-944-7324
西原町民陸上競技場	西原町字奥屋348-2	098-944-1146
西原町議会事務局	西原町字嘉手苺112	098-945-5122
西原町農業委員会	〃	098-945-5281
西原町商工会	西原町字小橋川11-5	098-945-6136
西原町シルバー人材センター	西原町字与那城135	098-944-1699
西原町社会福祉協議会	〃	098-945-3651
い・あ・ん・べー家	〃	098-946-1734
西原小学校	西原町字与那城353	098-945-2402
西原幼稚園	〃	098-945-2568
坂田小学校	西原町字新長627	098-945-5222
坂田幼稚園	西原町字新長626-1	098-945-5300
西原東小学校	西原町字嘉手苺90	098-945-1384
西原東幼稚園	西原町字小橋川1125	098-945-1385
西原南小学校	西原町字安室123-2	098-945-5500
西原南幼稚園	西原町字安室122-1	098-946-9779
西原中学校	西原町字新長238	098-945-5202
西原東中学校	西原町字小那覇308-1	098-946-2626
西原児童館	西原町字我謝241-84	098-945-4393
西原東児童館	西原町字嘉手苺57	098-944-0976
坂田保育所	西原町字新長665	098-945-5306
坂田児童館	〃	098-944-6308
西原郵便局	西原町字小橋川198	098-945-5309
西原我謝郵便局	西原町字我謝707-2	098-946-4673
西原坂田郵便局	西原町字新長523-1	098-946-5894
東部消防組合西原出張所	西原町字新長282	098-945-5105
東部消防組合本部	南風町字与那城226	098-945-2200
東部清掃施設組合西原処理場	西原町字小那覇962	098-945-4424
東部清掃施設組合こみ処理場	与那原町字板良敷1612	098-946-3014
沖縄県農業協同組合西原支店	西原町字嘉手苺113	098-945-5225
〃 与那城出張所	西原町字与那城249	098-945-2511
〃 坂田出張所	西原町字新長537-3	098-945-4453
浦添警察署	浦添市仲部2-51-1	098-875-0110
〃 坂田交番	西原町字新長200	098-945-4665
〃 小那覇交番	西原町字嘉手苺106	098-945-4662
県立西原高等学校	西原町字新長610	098-945-5418
県立うるま老人寮	西原町字新長110-2	098-945-3151
県企業局西原浄水場(直轄)	西原町字小那覇1336	098-945-4404
西原浄化センター(みぎクワン西原)	西原町字小那覇875-10	098-871-9807
国立琉球大学	西原町字千原1	098-895-8012
老人保健施設 池田苑	西原町字池田757	098-946-2000
精神薄弱者更正施設 豊泉園	西原町字池田625	098-945-5158
特別養護老人ホーム 守礼の里	西原町字新保久346	098-945-0028
キリスト教学院大学・短期大学	西原町字新長777	098-946-1231
介護老人保健施設 西原敬愛園	西原町字徳佐田159-1	098-946-2111
森川養護学校	西原町字森川1151	098-945-3008
沖縄県立琉球文化財センター	西原町字上原193-7	098-835-8751
琉球大学医学部付属病院	西原町字上原207	098-895-3331